

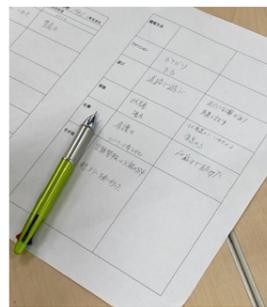
専門学生との交流会実施

7月5日、日本福祉教育専門学校と連携して、介護福祉士を目指す専門学生と地域の高齢者との交流会を行いました。



参加された地域の高齢者の方からの感想

- ・ 学生が熱心に話を聞いてくれて嬉しかった
- ・ 昔のことを思い出せて、脳の体操になった
- ・ 若い人と話せて、若返った気がする
- ・ 若い人の文化を知る機会となり、勉強になった
- ・ とても楽しかったので、また来たい



高齢者が昔話や得意なことなど、活躍の場となったことや元気な高齢者と触れ合うことで将来の活躍者(担い手)となる専門学生も大きな学びになる交流会となりました。



高齢者の活躍の場づくりや活躍者(担い手)支援も
高齢者の生活支援推進員の役割となっています。

発行 豊島区 高齢者の生活支援推進員 (第1層生活支援コーディネーター)

【問い合わせ先】

豊島区民社会福祉協議会 地域相談支援課

〒170-0013 豊島区東池袋1-39-2 豊島区役所東池袋分庁舎3階

電話 03-3981-4392 メール csw_seikatsu@toshima.ne.jp

豊島区生活支援体制整備事業

つなまち通信

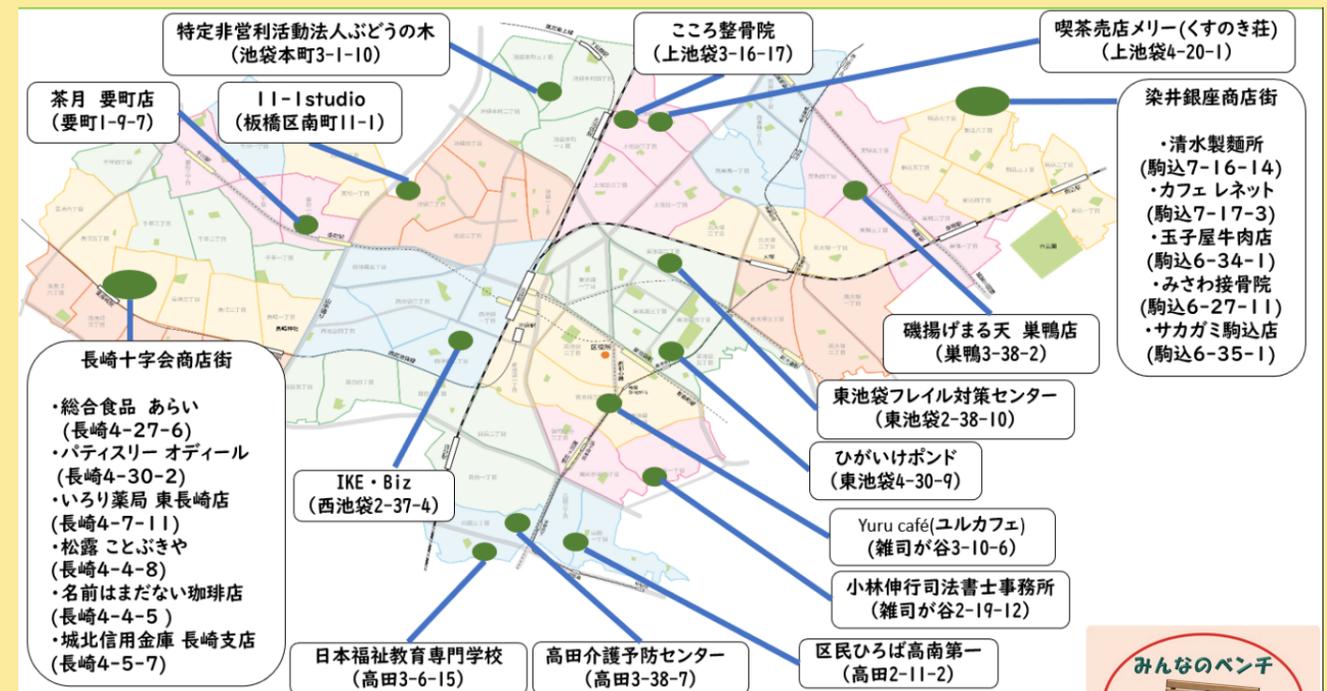
～としまつながるまち(地域)づくり通信～

としまベンチプロジェクト

だれでもベンチが増えています。

高齢者の移動支援で立ち上がった「としまベンチプロジェクト」。高田地域でのモデル実施を経て、まちなかのカフェやお店のベンチがだれでも座れるベンチとなっています。

としまベンチプロジェクトマップ



ステッカーが貼ってあるベンチを探してみてくださいね
としまベンチプロジェクトのホームページもできました！！



中面もあります

第2回 地域のささえあいの仕組みづくり協議会 開催

高齢者の生活課題を検討

9月21日(水)に第2回地域のささえあいの仕組みづくりを開催しました。今回は高齢者の生活支援推進員が活動を通して把握した、地域課題の報告から豊島区内全体の高齢者の生活課題についてグループワークを実施し、委員のみなさまからいろいろなご意見をいただきました。

グループワークで出たご意見



- ・坂が多い地域など、移動、外出支援の必要性。都電に乗るまでの移動手段があるとよい。
- ・高齢者の移動エリアは80mの輪で考えていくと良いのではないかと。ベンチプロジェクトの活用。
- ・ふらっと立ち寄れるカフェやおしゃべりできる場がたくさんあると良い。それが目的となり、外出のきっかけに。
- ・男性の社会参加には顔見知りを増やすきっかけづくりが必要。

- ・知人からの口コミ情報が一番有力。
- ・商店街の空き店舗活用して、場づくりや集いの場ができるのではないかと。
- ・留学生と高齢者の交流会は双方に良い影響があった。将来の福祉の担い手にもつながる。
- ・子どものころから高齢者と関わりを多く持つ機会がある通いの場、場づくりが必要。
- ・銭湯や学校を活用した居場所づくり。



今後の取り組み

- ・地域の実情に合わせながら、元気な高齢者の移動支援や顔の見える関係づくりとして、としまベンチプロジェクトの実施。
- ・空き家、空き店舗など、活動の場の把握。
- ・高齢者の生活支援推進員の活動を地域の方へ伝え、担い手を発掘していく。



こんな活動しています



高齢者の生活支援推進員

空き家を活用し、居場所づくりを地域みなさんと検討していきました。

①地域課題や地域情報を共有する場を設定



②活動に興味がある住民と空き家を見学



③空き家でお試し茶話会を実施



④月1回程度の定期開催



- ・通所型サービスB (介護予防活動)
- ・自主運動グループ



空き家活用の話し合いをしていく中から新たにモルックというスポーツの活動がスタート!

西部圏域担当が「まちづくり講座」を開催!

西部圏域担当住所

(長崎1丁目、千早1-4丁目、要町1-3丁目、高松1-3丁目、千川1-2丁目)



地域住民の方や関係機関と一緒に地域での居場所づくりや活躍できる場などの場づくり検討、地域課題の把握や情報共有を行っています。

地域について知りたい、地域活動に興味がある、何かしてみたい、などありましたら、裏面の【問い合わせ先】までお気軽にご連絡ください。

豊島区 生活支援体制 整備事業
西部圏域(千早、要町、高松、千川、奥崎1丁目)の皆さまへ

まちづくり講座

開催のお知らせ **参加無料**

自分たちの「まち」を自分たちで暮らしやすくする方法を講師の話を聞いて学びながら みんなで一緒に考えてみませんか?
高齢者に関わる話題が中心の講座ですが、現役世代や若い方の参加大歓迎です。

第1回:10月6日(木)「高齢者を支える仕組みについて学び、地域課題を聞く」
第2回:10月27日(木)「那須雄原らくらくサポーターの取組を学ぶ」
第3回:11月10日(木)「自宅を活用した地域活動について学ぶ」
第4回:11月24日(木)「地域の活動を知る、地域課題を改めて聞く」
第5回:12月8日(木)「自分たちで何かできないか考えてみる」
全5回の講座ですが、1回のみ参加も可能です。お気軽にどうぞ。

定員 20名(先着順) 時間はすべて14~16時
会場:千早地域文化創造館(千早2-35-12)

申込・質問は岩井(高齢者の生活支援推進員)まで
電話 090-6306-7315
メール tosimasora@roukyou.gr.jp
主催:NPO 法人フォーカスコープ
協力:西部高齢者総合相談センター、CSW 西部圏域担当